

## 産業向けソリューション特集にあたって

企業を取り巻く環境は、グローバル化の進展、国内外の社会動向や経済状況の変化、技術革新などの影響により、目まぐるしく変わってきています。また、ドイツが製造業の高度化に向けた新しい概念「Industrie 4.0」を推進するなど、産業界ではIoT (Internet of Things) やM2M (Machine to Machine)、ビッグデータ、クラウドなどのICT (Information and Communication Technology) を活用して新たな価値を提供する動きも活発化しています。このように企業が大きな変動、新しい環境にさらされる中、日立はお客様との課題やビジョンの共有からソリューションの提案・実証・運用・保守まで協創し、世界で勝ち抜こうとすお客様と共に成長していくことが大切と考えています。

日立グループでは、工場建設から製品、システムまで幅広いソリューションを提供しており、その進化に貢献できるよう先端技術の開発に取り組んでいます。

われわれはこれまでさまざまな商材をお客様に納めてきましたが、「納めれば終わり」になりがちだったとの反省があります。これからは工場などの製造プロセスや、製品のライフサイクル全体、つまり保守・メンテナンスを含めたお客様の事業ライフサイクル全般にわたるサポートに力を入れていきます。そのためには、お客様の課題をきっちり理解し、お客様にとってのKGI (Key Goal Indicator) を共に見つけることが大切になります。お客様が現在走っている地点に目を向けることはもちろんですが、どこに向かって走るべきか、さらにその先の「お客様のお客様」が何を求めているのかを共有できたとき、われわれは、種々の産業分野でお客様に提供してきたコンポーネントや製造技術・システム、工場を建設してきたEPC (Engineering, Procurement and Construction) 力に「ビッグデータ」、「クラウドコンピューティング」といったIT (Information Technology) を掛け合わせ、ワンストップで迅速にソリューションを提供して、大きな貢献ができるはずです。

私たちは、鉄鋼、自動車、ロボット、電子産業、医薬、化学、食品などさまざまな産業分野で蓄積した知識と、情報分野の最新技術を組み合わせ、今後もお客様に新しい価値を提供していきたいと考えています。そして、個別システム内の最適化にとどまらず、システム全体が連携、協調しながら共存共栄し、絶え間ない変化に即応しながら全体最適化を図る共生自律分散システムコンセプトを実現してまいります。

お客様ニーズに応えたマーケットイン型かつライフサイクルで対応する事業を推進する中で、産業分野にソリューションを提供してイノベーションにつなげ、社会全体に貢献していくことをめざしていきます。

本特集では、産業分野のお客様にソリューションを提供するいくつかのシステムとサービスの事例を紹介しました。皆様のビジネスや社会において何らかのお役に立てば幸いです。



**酒井 邦造**

日立製作所  
執行役常務  
インフラシステム社 社長

1975年日立製作所入社。2003年ディフェンスシステム事業部指揮管制システム本部長、2009年ディフェンスシステム社社長、2013年執行役常務・インフラシステム社プラントシステム部門CEOなどを経て、2014年4月より現職。